

さいたま市長メッセージ（令和4年4月14日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

新年度が始まり、2週間が経過しました。多くの方が新たな生活をスタートされたことと思います。コロナ禍で様々な制約がありますが、一日も早く新しい生活に慣れ、ご活躍されることをお祈りしています。

さて、本市の感染状況ですが、4月13日までの直近1週間で、5,077人となり、まん延防止等重点措置が解除された直後と比べ、1,000人以上の多くの新規陽性者が確認されています。また、首都圏を中心にオミクロン株BA.2（ビーエーツー）への置き換わりが進んでおり、感染の再拡大が危惧されています。

一方で、県全体の病床使用率と重症病床使用率は、減少傾向が続いており、医療提供体制は維持されているといえます。

このような中で、今後は、感染拡大の防止と医療提供体制の維持を図りながら、落ち込んだ市内経済の回復を進めていくという時期に移りつつあると考えております。

今年の1月からのいわゆる第6波においては、ワクチン接種率が比較的低い若い世代の方が多く感染し、軽症であっても数日の間、高熱が続く等の症状が報告されています。

感染を抑え、リバウンドを引き起こさないことが、経済の活性化を進めていくうえでは重要となります。感染や重症化を予防するため、ワクチンの3回目接種についてご検討ください。

新たな局面を迎えるタイミングで、経済活動が止まるような感染の再拡大が起こらないよう、引き続き、市民の皆様には、基本的な感染症対策の徹底をお願いします。